

ようこそ羽村へ

もっと知りたい 遊牧と草原の国



キルギス共和国

Kyrgyz Republic

ユーラシア大陸のほぼ中央に位置する山々に囲まれた美しい国、キルギス共和国。かつては遊牧の民が行き交い、都が栄え、シルクロードの要でした。現在もたくさんの民族が共存し、変化に富んだ文化を織りなしています。

キルギス共和国男子柔道ナショナルチームと羽村市は、2019世界柔道選手権と東京2020オリンピックの事前キャンプを羽村市で行うことに合意しました。キルギス共和国の皆さんを歓迎し、温かく交流できるように、この機会にキルギス共和国について知識を深めましょう。

キルギス共和国データ

面積：198,500km²(日本の約半分)

人口：610万人(2018年 国連人口基金)

首都：ビシュケク(Bishkek)

言語：主にキルギス語とロシア語

主要産業：農業・畜産業(GDPの約3割)、
鉱業(金採掘)

日本との時差：マイナス3時間

日本からは：飛行機で約10時間



キルギス共和国の風景と人々の暮らし



首都はビシュケク市。キルギス共和国の中心地でありながら、天山山脈が見渡せる、どこかゆったりした町です。



特色のある大小さまざまなバザールでは、食料品から、衣料品、日用雑貨におみやげものまで、ありとあらゆるものが並びます。



かつてのような遊牧生活は今ではほとんど見られませんが、郊外では馬に乗って羊などを追う人の姿が見られたり、羊や馬の肉、乳を使った料理には暮らしの知恵が詰まっています。

